

教育担当理事をしております奥田一雄です。本日の AP 外部評価委員会の開催に当たり、AP 実施本部長として一言ご挨拶を述べさせていただきます。

文部科学省の大学教育再生加速プログラムの採択を受けてから、もう 4 年が経過し、そしてこの 3 月をもって終了となります。本当にあつという間です。

外部評価委員会の皆さま方には、毎年、本学 AP 事業の実施内容について、詳細な点検をいただき、また、改善に向けての貴重なご意見やご助言をいただいてまいりました。

そのおかげで、スタートから 2 年目の中間評価の折りには、本学は最高位の「S」評価を受け、当初計画を越えた取組状況であると認められました。

その後もさらに、外部評価委員会からいただいた様々なご意見を取り入れて AP 事業の内容の向上に努めてきました。中期目標計画の年度評価の際に、本 AP 事業の取り組みの 1 つ、e-ポートフォリオを用いた活動が全国の国立大学のなかで優れた事例として取り上げられました。

本日 4 回目となる外部評価委員会が最終回です。令和元年度の本学 AP の取り組み状況をご覧になり、教育の内部質保証が十分になされているかどうかについて忌憚のない批評をいただければと思います。さらに、来年度以降、本プログラムが自走していく中で、どのようなところに気をつけ、どのようなところを伸ばして行くべきかなどについてもご意見を賜れば幸いに思います。

最後に、本外部評価委員会の皆さま方には、いままで本学 AP 事業の内容向上の面で多大なるご協力・ご貢献をいただきました。委員会の冒頭にはなりますが、実施本部長として、ここに厚く感謝の意を表します。

本日は何卒宜しく願い申し上げます。